

競 技 注 意 事 項

- 1 規 則 ①本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟競技規則 TR 16. 7により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR 5. 2により 20mm 以内、競歩競技は 40mm 以内とする。また、千葉県総合スポーツセンターが使用を認めていないスパイクのピンは使用禁止とする。
- 2 練 習 ①ウォームアップは、第2陸上競技場で行う。その時は、役員の指示に従い事故防止に努める。使用した用具は元の場所に返却すること。また、競技場にある用具以外の練習用具の持ち込みは原則禁止とする。
- ②陸上競技場の雨天走路での練習は、走幅跳、三段跳の試技前のみとする。
- ③投てき種目の練習は招集完了後、陸上競技場で行う。競技役員の指示以外による練習は、危険防止のため一切禁止する。
- ④大会参加者以外の会場使用は認めない。また、スポーツセンター内園路での集団走は禁止とする。
- ⑤競技開始後、第2陸上競技場でのピストルの使用は禁止とする。
- 3 招 集 ①招集所は陸上競技場の正面玄関に設ける。
- ②招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

種 目	招集開始	招集完了
トラック種目	30分前	20分前
跳躍種目（棒高跳を除く）	60分前	50分前
棒高跳	90分前現地で招集完了	
投てき種目	60分前	50分前

◎混成競技の招集開始時刻及び完了時刻は下記の通りである。但し、第1日目・第2日目とも2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技は20分前・フィールド競技は30分前に混成控え所（男子：警備本部室・女子：第2救護室）で行う。

種 目	招集開始	招集完了
混成第1種目（トラック）	30分前	20分前
混成第1種目（フィールド）	60分前	50分前

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から完了時刻までに、競技者自らがアスリートビブス、競技用シューズ、衣類、持ち物等の点検を受ける。
- ⑤招集完了後、トラック競技の選手は出発係の指示に従い競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、競技開始前に現地で点呼を受ける。
- ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに所定の用紙を招集所に提出する。
- ⑦出場する種目を棄権する場合は、招集開始時刻までに棄権届を招集所に提出する。

4 入退場

- ①陸上競技場には選手および競技役員以外の入場は認めない。
- ②陸上競技場の観客席にはメインスタンド2階中央の指定された場所から、入退場すること。芝生スタンドにはメインスタンド裏の通路から行くこと。各ゲートからの入場はできない。また、メインスタンドの場所取りは禁止とする。
- ③コーチングエリアを4ヶ所、設置する。(メインスタンド・両サイドスタンド・バックスタンド)、コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。
- ④競技の際の入場は原則第3ゲート(200mスタート地点)とする。但し次の種目に参加する選手は第1ゲート(フィニッシュ地点前方)を利用する。
 - * 400m・800m・1500m・10000m・400mH・3000mSC・4×400mR・Aゾーン使用フィールド種目
 - * 4×100mRに出場する選手の入退場は、1・2走者が第1ゲート、3・4走者は第3ゲートとする。
- ⑤混成競技に出場する選手が混成控え所に向かう際は、配付されたIDカードを着用して正面玄関より入場する。IDカードは第1種目の現地招集時に配付する。
- ⑥退場については、トラック競技出場選手はレース終了後、第1ゲートから退場する。スタート地点に戻る場合は芝生スタンドを通行する。フィールド競技出場選手は競技終了後、入場したゲートより速やかに退場する。
- ⑦更衣室および雨天走路内トイレの使用は女子のみとする。その際、更衣室は更衣のみに使用すること。競技中の選手については雨天走路内の男子トイレの使用は認める。ただし、男子の混成競技の選手は指定された場所を使用する。

5 アスリートビブス

アスリートビブスは胸と背にしわにならないようにのばして四隅を結着し、切ったり、曲げてはいけない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背につけるだけでもよい。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰後方につける。

- 6 番組編成 ①トラック競技の予選の組及び走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。
- ②トラック競技の準決勝、決勝の組及び走路順は、番組編成員が抽選し招集所に掲示する。
- ③トラック競技の準決勝及び決勝の出場者を同タイム者の中から決める場合、800mまでの種目とリレー種目については、写真判定を細部まで読み取り、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定し出場者を決める。この方法により判定できない場合は、同タイムとなった該当の競技者、チームまたはその代理人によって抽選を行い、出場者を決める。

7 棒高跳支柱移動申告について

競技者は、希望する支柱の位置を所定の「棒高跳支柱移動届」に記入し、跳躍審判員に提出する。「棒高跳支柱移動届」用紙は招集所で配付する。

8 走高跳、棒高跳におけるバーのあげ方は次のとおりとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1. 80	1. 85	1. 90	1. 95	1. 98	以降 3cm		
女子走高跳	1. 45	1. 50	1. 55	1. 58	以降 3cm			
男子棒高跳	4. 00	4. 10	4. 30	4. 50	4. 70	4. 80	4. 85	以降 5cm
女子棒高跳	2. 60	2. 70	2. 90	3. 10	3. 20	3. 30	3. 35	以降 5cm
十種走高跳	1. 50	1. 55	1. 60	1. 65	1. 70	1. 75	1. 78	以降 3cm
十種棒高跳	2. 60	2. 80～3. 40 は 20cm 3. 40～4. 10 は 10cm 以降 5cm						
七種走高跳	1. 25	1. 30	1. 35	1. 40	1. 45	1. 50	1. 53	以降 3cm

天候等により、審判長の指示で最初の高さを変更することがある。

9 競技からの除外

競技運営上、必要と認めた場合は、トラック競技においてすべての競技者が競技を終了していない時点でも審判長が競技を打ち切ることがある。

10 リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙1部を第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出する。リレーオーダー用紙は招集所に用意する。

②チーム4人のユニフォームの形状を統一する必要はないが、デザイン・配色を統一したものを着用すること。

11 用器具 競技に使用する用器具は競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り検査を受けて個人ものを使用する。

12 表 彰 第1位には選手権章を、第1位から第3位までには賞状を授与する。
第1位から第3位までの選手は、競技終了後、表彰控室で待機する。

13 抗 議 日本陸上競技連盟競技規則 TR 8による。

14 競技場に商品名のついた衣類・バックを持ちこむ場合については、次の①～④のみ許可される。

①上半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つつまで。

②下半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つつまで。

③バッグ・タオル（ブランケット含む）

製造会社／ロゴ：1個・最大 40 cm²まで文字高さ 5 cm以内

④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つつ）

製造会社／ロゴ：1個・最大 6 cm²まで文字高さ 3 cm以内

15 開門・場所取りについて

①陸上競技場

開門時刻は8時とする。スタンド裏コンコースの場所取りは、各チームの代表者2名が7時50分に入場する。代表者2名は7時45分までに、野球場側のスロープ入口のチェーンの外に並ぶこと。メインスタンドの場所取りは禁止とする。また、雨天練習場男子トイレ、男子更衣室は利用できない。

②第2陸上競技場

開門時刻は7時とし。出入り口は陸上競技場側の1カ所とする。練習のみの利用とし、テントの設置、場所取りは許可する。

③その他のテント設置可能箇所

国道16号側緑地帯、モノレール下とする。

④その他

- ・各チームの控え場所（テント設置）は原則1カ所とする。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の行為がないようにする。

16 その他

- ①横断幕の設置は1チーム1枚とする。設置場所は、メインスタンド・芝生スタンドともに最上段とする。のぼり旗については設置しない。横断幕は2日目競技終了まで付けておくことができる。
- ②各チームの荷物はすべて毎日、持ち帰る。陸上競技場内保管は一切、認めない。第2陸上競技場へテントの骨組み、ブルーシートで覆い風に飛ばされないようにした荷物を置いて帰ることは、各チームの責任で許可する。
- ③スマートフォン、携帯電話、トランシーバー、ビデオカメラ、スマートウォッチ（受信機能があるもの）、音楽再生機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ④競技場内では雨天時以外は傘の使用は認めない。
- ⑤3000m S Cおよびやり投に出場する選手は、危険防止の為に必ずスパイクを着用する。
- ⑥プログラムの記載内容の訂正は早めに TIC へ届け出る。
- ⑦セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。
- ⑧控所、洗面所、競技場内外の清掃・整頓につとめる。
- ⑨女子更衣室では更衣のみを行う。貴重品等の管理は各自で行い、紛失盗難等には十分注意する。更衣室内の場所取りは禁止する。
- ⑩ホームストレート側本部席からフィニッシュライン付近の、役員室前のアウトフィールド部分の通行を禁止とする。
- ⑪ゴミは原則として各自で責任を持って持ち帰る。分別処理をして所定の場所に捨てても良い。
- ⑫競技中に発生した事故などについては、応急措置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑬アスリートビブスは4月の千葉県陸上競技記録会に出場した一般・大学生・中学生は、同記録会で配付されたアスリートビブスを使用する。配布されていない選手のアスリートビブスは TIC で配付する。高校生は今年度の高体連登録のアスリートビブスを使用する。
- ⑭各種目上位6名（混成競技は上位3名、女子3000mSCは上位3名）に入賞した者は第98回関東陸上競技選手権大会への出場権を得る。走高跳、棒高跳で上位6位までが同成績により7名以上いる場合は、上位6名を決めるための決定戦を行う。5000m・10000m・5000mW は関東選手権大会では実施しない。
各種目上位6名（混成競技は上位3名、女子3000mSCは上位3名）までの入賞者は連絡事項があるので、競技終了後、必ず第一会議室で確認する。

＜関東陸上競技選手権大会の申込について＞

大会参加者は、競技終了後 7 月 4 日（金） 23：59 までに N I S H I スポーツ陸上競技大会運営システムによりに申し込みをする。その後、7 月 4 日（金）午後 4 時までに申し込み一覧表（個人・団体とも）を千葉陸上競技協会事務局にメールまたは F A X で送付する。参加料、プログラム代金を振り込んだ場合は、必ず金融機関発行の利用明細のコピー添えること。

申 込 先

（一財）千葉陸上競技協会事務局

〒263-0011 千葉市稲毛区天台町 323

TEL:043-252-7311 FAX:043-252-7314

e-mail:entry@jaaf-chiba.jp